



UNIVERSITÀ
DI TORINO

トリノ大学 農林・食品科学部

Università di Torino Department of
Agricultural, Forest and Food Science

イタリア



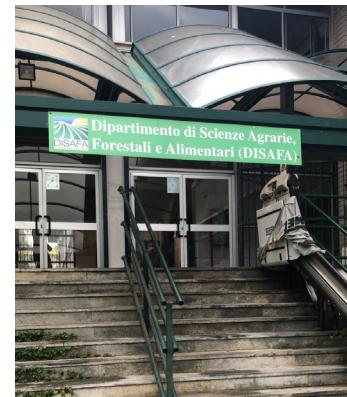
●学部学生 約76,700人 ●大学院生 約2,700人 ●教職員 約3,800人

ホームページ <https://www.unito.it/>

交流協定締結年月日：2019年7月8日 主管学部：農学部

国際交流の特色

トリノ大学は、イタリア北西部のピエモンテ州トリノにある国立大学です。1404年にローマ教皇ベネディクト13世の勅令により創設された、イタリアで最も歴史の古い大学の一つで、ノーベル賞受賞者を複数輩出した、格式高い名門大学の一つでもあります。現在は27の学部と55の学科で構成されています。25の大学とのダブルディグリープログラムを締結し、124カ国600以上の大学との国際交流協定を締結しています。トリノ大学は積極的に国際化を進めており、約4,400人（2017年-2018年）の留学生を受け入れています。2019年度および2023年度には香川大学からトリノ大学へ学生2名を研究留学で派遣しています。



農林食品科学部の入口

交流実績（令和4年度～令和6年度）

受入・派遣	年度	R4	R5	R6
学生の受入		○	○	○
学生の派遣		○	1	1
研究者・職員の受入		○	○	○
研究者・職員の派遣		○	○	○
オンライン交流参加者（本学）		○	○	○
オンライン交流参加者（相手機関）		○	○	○



研究室



サッカー観戦の様子

教員からの声

トリノ大学農林・食品科学部の研究者とは、2016年から研究の情報交換や日伊国際共同研究費への申請など交流を続けています。2019年には、香川大学農学部とトリノ大学農林・食品科学部との学部間学術交流協定を締結し、2019年10月より学生1名をトリノ大学へ派遣しています。学生の派遣先であるトリノ大学農林・食品科学部内の研究施設では、ニワトリや昆虫に加え、ウサギ、養殖魚など多種多様な動物が飼育されており、様々な動物の栄養生理について研究を行うことが可能です。この他、農林・食品科学部では生物生産科学や森林・環境科学、食品科学について学ぶことが可能です。またユニークな取り組みとして、国際連合食糧農業機関（FAO）と連携し、山岳地域の持続可能な管理に関する研究と教育プログラムを実施しています。

香川大学農学部 准教授 川崎 淨教

学生からの声

私は、2023年10月から2024年8月までの11ヶ月、トリノ大学農林・食品科学部の研究所で、昆虫飼料の研究に取り組んできました。香川大学在籍中も昆虫飼料が鶏に与える影響について調べていたので、より詳しく探求するためにトリノ大学への留学を決めました。トリノ大学では畜産動物への飼料目的として昆虫（アメリカミズアブ、ミールワーム）の生産方法を学び安全性を考慮し適した飼育管理と、昆虫飼料が家畜に与える影響についての研究に取り組みました。また研究室の仲間たちと交流を深めるために、英語でのコミュニケーションに加えてイタリア文化を学びイタリア語講座を受講しました。休日は友達と乗馬したりサッカー観戦をしたり、シェアハウスのルームメイトとディナーにも行きました。たくさんの人たちの支えがあって、大変有意義で楽しい留学生活だったと実感しています。香川大学大学院 農学研究科1年（留学時） 富田 真輝人